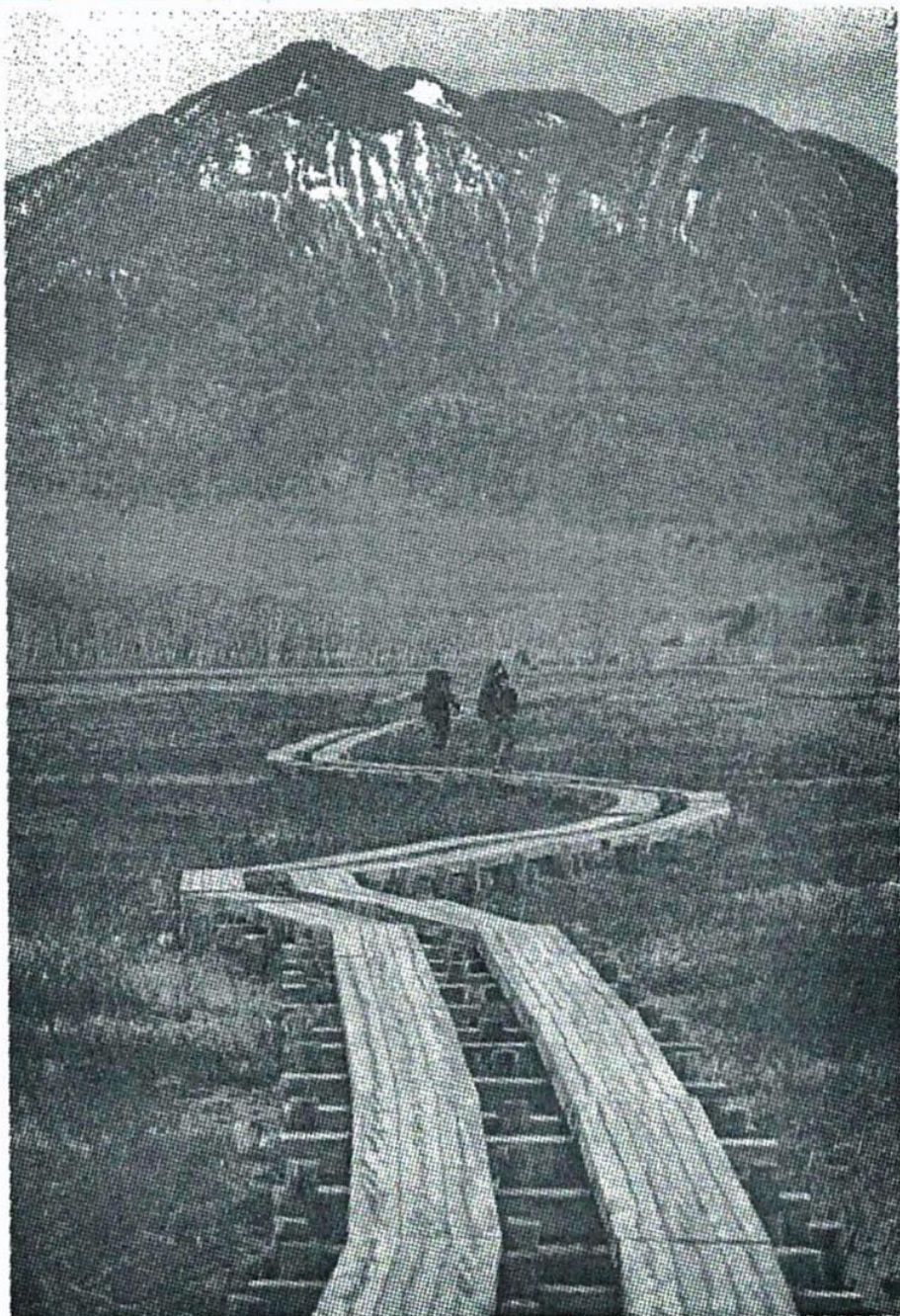


まだはるかな尾瀬

群馬、福島、新潟、栃木の4県にまたがる尾瀬国立公園（約3万7200㍍）が23日、山開きした＝写真、大原一郎撮影＝。雪解けが進んだ尾瀬ヶ原周辺ではミズバショウが見頃を迎えているが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、尾瀬保護財団や環境省などは当面の入山自粛を求めており、訪れるハイカーもまばらな、寂しい幕開けとなった。

群馬県片品村の登山口・鳩待峠では、午前11時までに尾瀬ヶ原への登山道に入っただけで、早朝から登山指導に当たる警察官らも手持ちぶさたの様子だった。休憩所や木道などの管理や保全を担当する企業の職員は、「今は来ない方が望ましいが、終息したら豊かな自然を楽しんでほしい」と話していた。



2020年5月23日 読売新聞 夕刊社会面 掲載

（原本の写真はカラーです）